

### 33. 木 工 章

考査課題	考査方法	認印
	合格年月日	
(1) 木材 10 種以上を見分け、その特徴と用途を知ること。	実・口	
(2) のこぎり、糸のこぎり、かんな、のみ、小刀、きり、ドライバー、金づち、ペンチ、釘抜きを正しく使用でき、その手入れと保存を実行していること。	実	
(3) 木材の接合（貼り付け、釘付け、簡単な接手仕口）ができること。	作	
(4) 次のうちからそれぞれ 1 つを作品として提出すること。（塗装を含む） ア 簡単な机、椅子、本箱、書棚 イ 筆箱、筆立、本立、額縁、はし箱、すずり箱	作	

考査課題の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 印

### 34. 安 全 章

考査課題	考査方法	認印
	合格年月日	
(1) 隊または班の安全係を 3 か月以上担当し、隊（班）キャンプにおける衛生ならびに危険防止の係になった経験を有すること。（安全係はスカウト活動及び一般戸外運動における危険防止を担当する）	報	
(2) 2 泊以上のキャンプにおけるプログラム及び野営生活での危険を予測し、発生すると思われる事項を想定し、その対策について説明できること。	□/記	
(3) 自家における危険なものを処理すること。特に火災の原因となる物を列挙し、その保管方法及び処理方法を説明すること。	報	
(4) 自家各部屋の電気コンセント及びガス栓に接続されている器具について説明し、安全に使用されているか、その問題点を説明する。	□/記	
(5) 漏電やガス漏れ事故の原因を説明すること。	□/記	
(6) 常に自家の周辺の危険物及び危険箇所を調べ、その処理改善方法が説明できること。	報	
(7) 自家、学校または、勤務先、電車、バスなどで地震または火災が起こったときの避難場所、及び正しい避難方法を知り、これを説明すること。	□/記	
(8) 歩行者を円滑に誘導、交通整理奉仕した経験、またはその能力を有すること。	報	
(9) 身の回りで起こり得る危険なことについて、その時の状況、処置（判断）、予防方法について説明できること。	□/記	

考査課題の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 印

### 35. 沿岸視察章

考査課題	考査方法	認印
	合格年月日	
(1) 水路図誌（海図と水路書誌）の概要が読めること。	□/記	
(2) 居住地を中心とする（あるいは任意に選んだ）沿岸 6km にわたり、水路図誌を参考に、または土地の人々の協力を得て、次の事項を調べ、略図を添えて、簡単な報告書を提出すること。 ア 海岸線の大体の状況 イ 5 ヒロ（約 9.15m）以内の浅瀬線、岩礁（水深 2m 以下の暗岩及び洗岩など）の所在 ウ 潮流の方向、干満の差 エ 舟艇の安全な接岸点及び避難場所 オ 灯台の位置、名称、灯質、灯色、周期、光達距離、及び霧信号の種類 カ 浮標、灯浮標の種類、形、塗色及び設置位置と目的 キ 無線局の種類、位置、名称、電波の種類と周波数 ク 水難救済所の所在地、電話番号及び緊急通報の要領	報	
(3) 航行中の船舶及び水泳者などに潮流、岩礁、浅瀬の危険を通知する方法を知ること。	□/記	
(4) 1 時間沿岸を監視し、航行する船舶の種類、数量、航向、時間、旗旗及び当時の潮汐、風向などを記録し、報告すること。	報	
(5) 暴風警報、気象通報の標示を識別できること。	□/記	
(6) 国際船舶救難信号について常識を有すること。	□/記	

考査課題の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 印

### 36. 家庭修理章

考査課題	考査方法	認印
	合格年月日	
(1) 家具、建具などの破損箇所を、2 回以上修理した経験があること。	報	
(2) ア 障子の切り張り及び張り替えができること。 イ 網戸の網の張り替え、または壁の修理をした経験があること。	報	
(3) 家庭の刃物類（大工用具、炊事用具）を研ぐことができ、その手入れと安全な保存を怠らないこと。	実	
(4) 家屋内外の掃除と手入れを少なくとも 1 か月続け、手入れ、修理記録を提出すること。	録	
(5) 自己の住居の電気、ガス、水道及び排水について主要な器具、装置の種類、構造、配置ならびに機能を調査、理解し、それらの小破損の修理、または故障の応急手当ができること。	報	
(6) モルタルの作り方、使い方、ハンダ付けに必要な材料と工具の使い方、及び接着剤の使用法を知り、これを用いて修理または、工作を行った経験を有すること。	報	
(7) 塗料（水性・油性）により、家具または家屋内外を塗装した経験を有すること。	報	

考査課題の全てに合格したことを証明します。

年 月 日 技能章考査員 印